

『なだだな』のあゆみ

『なだだな』のバックナンバーはこちらのサイトで→



なだだな	灘区民まちづくり会議企画運営委員会の活動
1996 (平成 8) 年	灘区民まちづくり企画運営委員会の設置 「ちょっと気配り灘のまち」区民運動の開始 『なだだな』創刊号発行
1998 (平成 10) 年	Vol.1 灘 B 級メディア史 (4 月) Vol.2 水車にまつわるエトセトラ (9 月)
1999 (平成 11) 年	Vol.3 灘百選 募集開始! (4 月) Vol.4 なぜか摩耶山 (9 月)
2000 (平成 12) 年	Vol.5 灘どうぶつ事情 (4 月) Vol.6 都賀川沿いを歩いてみれば (11 月)
2001 (平成 13) 年	Vol.7 摩耶山体感! 登山 (4 月) Vol.8 灘子供たちまち今昔 (11 月)
2002 (平成 14) 年	Vol.9 なだの、なのはな、なのだな。(4 月) Vol.10 灘懐かしの憩い場 (10 月)
2003 (平成 15) 年	Vol.11 灘区町名探訪! (4 月) Vol.12 灘食材図鑑 (10 月)
2004 (平成 16) 年	Vol.13 灘文化軸トリビアウォーク (3 月) Vol.14 もしも灘区に…があったら (10 月)
2005 (平成 17) 年	Vol.15 Viva!! Nada Festa! (4 月) Vol.16 六甲道 OLD&NEW (10 月)
2006 (平成 18) 年	Vol.17 灘湾岸ハーバーウォーキング30 (4 月) Vol.18 バス de GO! (10 月)
2007 (平成 19) 年	Vol.19 灘区ロケ地探訪 (4 月) Vol.20 灘のケーブルカーで行こう! ロープウェーに乗ろう! (10 月) 号外 発刊 10 年、20 号をむかえました。(10 月)
2008 (平成 20) 年	Vol.21 NADAOLINPIC (4 月) Vol.22 灘人さんいらっしゃい! (10 月)
2009 (平成 21) 年	Vol.23 灘区古建築談義 (4 月) Vol.24 灘道を行く (10 月)
2010 (平成 22) 年	Vol.25 灘の街キャラ大集合 (4 月) Vol.26 もしも摩耶山でこんなことができたなら… (11 月)
2011 (平成 23) 年	Vol.27 灘区制 80 周年 NADA80 (4 月) Vol.28 灘区昭和六年アルバム (10 月)
2012 (平成 24) 年	Vol.29 なつかしの灘区探検地図 (3 月) Vol.30 なんだ坂、こんな坂 (10 月)
2013 (平成 25) 年	Vol.31 灘の高架 (3 月)
2014 (平成 26) 年	Vol.32 灘・はじめて物語 (3 月) Vol.33 灘区学園天国 (11 月)
2015 (平成 27) 年	Vol.34 灘区の公園 (1 月)
2016 (平成 28) 年	Vol.35 摩耶駅あたりふらり 100 年 (1 月) Vol.36 Welcome to Orange Island (10 月)
2018 (平成 30) 年	Vol.37 昭和 63 年灘 8 大ニュース (12 月)
2019 (令和元) 年	Vol.38 灘三ヶ町村合併物語 (12 月)
2021 (令和 3) 年	Vol.39 THANK YOU! 【最終号】 23 年間ありがとう (3 月)



なだだな



THANK YOU! 39

【最終号】23年間ありがとう 2021.3

灘のまちを知るための情報誌 編集 灘区民まちづくり会議企画運営委員会 発行 灘区役所



なだだな

編集 灘区民まちづくり会議企画運営委員会
発行 灘区役所
〒657-8570
灘区役所まちづくり課内
TEL (078) 843-7001(代)
FAX (078) 843-7034

なだだな No.39
2021年3月

第三火曜は
「ちょっと気配り」参加の日
— ちょっとした気配りで
住みよい灘区を—



元気アップ神戸
「ちょっと気配り灘のまち」区民運動

神戸市広報印刷物登録
令和2年度第594号
(広報印刷物規格B-1類)
リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

プレイバック なだだな

1998年4月、灘のまちを知るための情報誌として創刊した『なだだな』が23年間の幕を閉じます。今回は編集委員が独断と偏見で39号の中から印象に残っている9つの号を選びました。今まで『なだだな』をご愛読いただいた皆さん、長らくのご愛顧ありがとうございました！

Vol. 14 2004.10

もしも灘区に…があったら…

- 灘区の未来を空想するという新機軸でした。
- 歴史を生かしつつ、こんなもんがあったらええなみたいなネタが出たけど、いくつか実現したもんね。
- 掬星台で開催したステラ 702 (のちのステラ 451) は「摩耶山ピアガーデンがあったら…」が元ネタ。
- 摩耶山でピアガーデンやったら夜景も楽しめるよね。ということやったけどあれは大変やった (笑)。
- 「都賀川朝市があったら…」は、北区の農家の人をお願いして軽トラで野菜とか販売してもらった。
- あれは人來なかつたね。早すぎたかな (笑)。
- 南北の行き来が楽しくなればという「市街地ケーブルカーがあったら…」は坂バスの運行につながった。
- 灘区サンフランシスコ計画とか言っていましたもんね。
- そう、摩耶ケーブルを HAT 神戸まで延長させようという壮大な空想。まだあきらめてないで (笑)。

Vol. 1 1998.4

灘 B 級メディア史

- 創刊号はいろんな意味で衝撃的やったな。
- いきなり「灘 B 級メディア史」ですからね。
- 摩耶観光ホテルとかキングジョーが登場してるし。
- 冒頭で長田区や東灘区とか他区をいじるのも広報紙としては画期的。
- あと配色も奇抜。
- 「なんなんだ」というコーナーでは大学生に取材をしてもらいました。
- 阪急六甲駅の「開かずの扉」ね。
- 大学入った時の新歓でこの号を渡されたの覚えてます (笑)。



Vol. 19 2007.4

灘区ロケ地探訪

- 新在家で撮影された映画のロケ風景写真から発展した企画。
- 嵐寛寿郎のロケシーンやったかな。まだ新在家に砂浜があったころの。
- 宝塚映画でしたね。
- 調べると灘ロケ作品多かったです。若大将シリーズやアイドル映画もありました。
- ウルトラセブン (第14話、15話) のロケ地が灘区やったというのがわかったのも、この時期やったっけ?
- もうちょっと後です。灘百選の会で調べたら、ほとんど区内で撮影されたとわかって興奮しました。
- 灘百選の会でロケ地探訪ツアーもやったね。
- 僕はポインター (ウルトラ警備隊の車両) 生で見たからね。
- そのエピソードがあったから、調べたんですもん。
- 記憶は大事です!

Vol. 4 1999.9

なぜか摩耶山

- 4号のテーマは摩耶山。「なぜか」ってタイトルがすでにネタ切れ感あります。
- 実は2〜3号で終わると思ってた。まさかの4号 (笑)。
- えー! そんなこと思ってたんですか!
- 酒粕とコーヒーをいれる摩耶山カレーのレシピは婦人会の「神戸摩耶山カレー」に引き継がれてるね。
- 灘百選の募集も始まりました。
- 酒瓶で募集瓶作ったなあ。
- みんなでラベル貼りましたね。懐かしい。



Vol. 5 2000.4

灘どうぶつ事情

- パンダが来園する直前に出た号です。
- 気が早いからパンダの赤ちゃん名前も勝手に考えた。
- 灘やかに「灘灘 (タンタン)」とかね。来園後にパンダの名前が「旦旦 (タンタン)」に決まった時は震えました。
- 摩耶観光ホテルで飼育すればいいとかむちゃくちゃね。
- 前号の摩耶山ネタを引っ張ってたね。
- 灘百選の投票結果発表もこの号やね。
- 約6000票が集まって、選考は苦労したな。



Vol. 10 2002.10

灘懐かしの憩い場

- 銭湯、映画館、ボウリング場を取り上げました。
- この号の編集会議は盛り上がったなあ。
- リアルな思い出を聞くのは楽しかったし街の話のヒアリングは貴重やなど。
- 子どもの頃の悪い話もいろいろと (笑)。
- とても全部は収録できませんでしたよ。
- このときにあった映画館もなくなったし、銭湯も3分の1になった。
- そう考えると資料価値のある号ですね。



Vol. 21 2008.4

ナダリンピック

- この号、好きです (笑)。
- ちょうどオリンピックイヤーやったから、灘のオリンピックネタ集めよかなと。
- 北京オリンピックですよ。かなり強引。
- 灘区内のスポーツ施設のエピソードを集めるという姑息さがいい。
- でもいい写真が集まったよね。
- このあたりのネタがのちのシム記念登山マラソンにつながっていった。
- そう考えると、なだだなはプロジェクトのネタの宝庫やな。



Vol. 26 2010.11

摩耶山を楽しむ 40 案

- この号も14号と同じ「もしもシリーズ」やね。
- まやビューラインの運航継続が決まったところか。
- 摩耶山再生の会で摩耶山の将来像を考えるときに出了たネタです。
- マヤ遺跡 (摩耶山に残る古い遺構群) ってこのころから言うてたんや。
- 「市民プロデュースのイベントを毎週開催」は「マヤカツ」として実現しました。
- 僕も中国語教室やってるよ。
- 「山を使った大きめだめし大会」とかおもしろそう。
- 使えるネタはまだまだあるね。



Vol. 30 2012.10

なだ坂こんな坂

- 道とか高架とか公園とか街のインフラをテーマにしたシリーズ。
- タイトルがダジャレというゆるさ。
- と見せかけて、実は坂バスの社会実験にあわせたという周到さ!
- 坂が多いから坂に名前をつけてしまおうという。ネットでも話題になったよね。
- 「アンヌ (ウルトラセブンのアンヌ隊員) 坂」とか「ナンノ (女優の南野陽子さん) 坂」とか。もちろん本人の許可とかとってませんから。
- 怒られたら謝ったらええねん (笑)。
- 今思えば最初から最後までそのテンションでしたね (笑)。

